

事務事業評価調書

事務事業名	市有建築施設管理事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	「市有建築物保全システム事業」及び「建築CADシステム事業」の統合。											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	建築基準法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市が保有する建築物(市有建築物)。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市有建築物の新築・増改築・改修等の工事図面の電子化。 市有建築物の基本情報や保全情報の一元管理。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	設計業務及び工事監理業務の効率化を図る。 市有建築物の現状を把握し、総合的・計画的な維持保全を推進する。													
(7)	事業概要	市が保有する建築物の新築・増改築・改修などを行う際、工事図面の電子化を図る。 市が保有する建築物の面積、建設年度などの基本的な情報やこれまでの工事・修繕、点検などの保全に関する情報を一元的に管理する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	13	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		914	672	291	351	291							
		人件費	職員数	人	19.50	19.50	17.50	17.50	16.30						
			総額(B)	千円	162,864	156,761	142,975	138,250	131,248						
		総事業費(A+B)		163,778	157,433	143,266	138,601	131,539							
		特定財源(C)		0	7	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	7	0	0	0							
		市負担(D)		163,778	157,426	143,266	138,601	131,539							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	163,778		157,426	143,266	138,601	131,539									
財源計(C+D)		163,778	157,433	143,266	138,601	131,539									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	市有建築物の設計業務及び工事監理業務、並びに市有建築物保全システムを活用した施設情報の一元管理。		目標	市有建築物の新築・増改築・改修等の工事図面の電子化。市有建築物の基本情報や保全情報の一元管理。	
	②	成果内容	設計業務及び工事監理業務の効率化を図る。 市有建築物の現状を把握し、総合的・計画的な維持保全を推進する。		達成状況	目標どおりの進捗状況である。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		図面を電子データ化することにより、再利用性が向上し、効率的な事務執行が可能となる。さらに、省スペース化、発注業務の電子化などにも寄与する。 また、市有建築物保全システムを活用した施設情報の一元管理を図り、適切な保全業務の推進と今後の中長期保全計画の策定に寄与することで、公共施設最適化の推進に貢献する。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	市有建築施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00082				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00082
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes. The top axis is '妥当性' (Justification) with a scale from 0 to 20. The right axis is '有効性' (Effectiveness) with a scale from 0 to 20. The bottom-right axis is '効率性' (Efficiency) with a scale from 0 to 20. The bottom-left axis is '公平性' (Fairness) with a scale from 0 to 20. The left axis is '持続可能性' (Sustainability) with a scale from 0 to 20. The shaded area represents the following scores: 妥当性: 15, 有効性: 10, 効率性: 5, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び持続可能性については適正であると考えます。また、運用マニュアルを作成するなど、室内周知を図り、より効率化を図れるよう取り組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公共施設最適化推進事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正 内容	施設白書作成事業から事業名称変更											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	公共施設の最適化方針骨子													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	道路、橋りょう及び公共用地等を含めた公共施設。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公共施設を経営資源として位置付け、財務、供給及び品質の3つの視点の総合的かつ適切な調和を図り、最適化を推進する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	時代と共に変化する市民ニーズ・地域特性に応じた適正な公共サービス水準の維持と、健全な財政状態の維持の両立が可能となる。													
(7)	事業概要	公共施設の最適化の推進 ①公共施設最適化計画の策定 ②個別施設の利活用の具体化、再整備の検討及び保全管理の事業化													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	18	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,235	1,986	2,249	1,963	2,354							
		人件費	職員数	7.80	6.80	7.80	7.80	7.80							
			総額(B)	65,146	54,666	63,726	61,620	62,806							
		総事業費(A+B)		67,381	56,652	65,975	63,583	65,160							
		特定財源(C)		9	16	9	0	7							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	9	16	9	0	7							
		市負担(D)		67,372	56,636	65,966	63,583	65,153							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	67,372		56,636	65,966	63,583	65,153									
財源計(C+D)		67,381	56,652	65,975	63,583	65,160									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	吹田市公共施設最適化推進委員会及び一般建築物、公共用地及びインフラ等各作業部会を開催し、公共施設最適化に向け検討を行う。		目標	一般建築物について個々の施設の方向性の検討時期の分類に取り組む。(仮称)吹田市公共施設等総合計画の策定に向けて取り組む。	
	②	成果内容	全庁的な協議・検討のもと、一般建築物について、個々の施設の方向性の検討時期の分類を行い、公共施設全体を対象とした吹田市公共施設総合管理計画を取りまとめた。		達成状況	一般建築物について、個々の施設の方向性の検討時期の分類を行った。吹田市公共施設総合管理計画の策定を行った。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		公共施設の最適化により、時代と共に変化する市民ニーズ・地域特性に応じた適正な公共サービス水準の維持と、健全な財政状態の維持の両立が可能となる。今後、平成28年度策定の吹田市公共施設総合管理計画に基づき、公共施設の総合的かつ計画的な管理に取り組む。また、検討時期の分類を行った一般建築物について、個々の施設の具体的な方向性の検討を進める。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	公共施設最適化推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00083				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00083
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five criteria: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 12.</p>		
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、及び持続可能性についてはほぼ適正と考える。また、施設所管課との連携を図るなど、より効率化を図れるよう取り組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について(平成26年4月22日 総財務第74号)で、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画(公共施設等総合管理計画)の策定に取り組む旨の通知がなされ、平成28年度に吹田市公共施設総合管理計画を策定した。

事務事業評価調書

事務事業名	固定資産台帳管理事業				
担当部署	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正内容	吹田市公有財産規則の制定 吹田市固定資産取扱要領の制定														
(2) 直近の改正	平成27年度																
(3) 根拠法令等	吹田市公有財産規則 吹田市固定資産取扱要領																
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総計計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00										
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
	範囲等	固定資産台帳の管理															
	目標(どういう状態にしたいのか)	市が所有する固定資産の情報を、全庁的に管理できる固定資産台帳管理システムの保守、運用をする。															
	結果(どのような効果が得られるのか)	全庁的に各所属が管理する資産情報をつぶさに把握でき、新公会計制度における財務諸表の作成や、公共施設最適化に寄与する。															
(7) 事業概要	新公会計制度の導入に伴い、市が所有する固定資産の調査を行ったデータを管理する。 固定資産台帳管理システムの保守、運用を行う。																
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大	事業	19	中	事業	01	小	事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		1,063	1,062	1,063	1,062	1,063										
	人件費	職員数	人	3.90	3.90	3.90	3.90	3.90									
		総額(B)	千円	32,573	31,353	31,863	30,810	31,403									
	総事業費(A+B)		33,636	32,415	32,926	31,872	32,466										
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0									
		国		0	0	0	0	0									
		府		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0										
	(内訳)	市負担(D)		33,636	32,415	32,926	31,872	32,466									
		地方債		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
一般財源		33,636	32,415	32,926	31,872	32,466											
財源計(C+D)		33,636	32,415	32,926	31,872	32,466											
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 富士通(株)														
			②														
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③														
			①														
②																	
<input type="checkbox"/> その他	内容	③															

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	固定資産の調査、データの作成及び管理		目標	固定資産台帳の精査及び固定資産台帳管理システムの運用	
	②	成果内容	市が保有する固定資産のコスト情報の一元管理		達成状況	固定資産台帳の整備及び管理を行った。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>固定資産台帳管理システムで整備した固定資産情報について、継続した管理を行っている。決算審査において新公会計制度の基礎資料となる事業別財務諸表を各施設所管が、固定資産台帳管理システムを活用して作成することで、施設管理におけるフルコストについての意識が高まっている。また、公共施設の維持管理、修繕、更新等に係る中長期的な経費の算出等に活用することで、公共施設最適化の推進に貢献する。</p> <p>今後、データの精緻化に取り組み、より効果的な活用のために、システム改良を検討する必要がある。</p>				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	固定資産台帳管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00084				

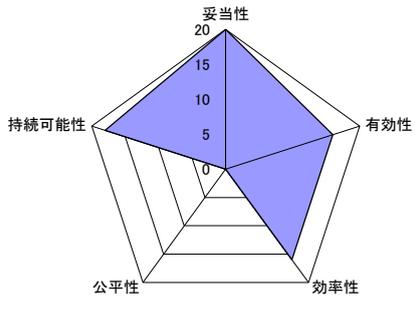
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00084
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>膨大な資産データの整理し、それを適切に管理及びシステムの運用をするためには、従来の手法とは異なる、効率性の高い制度設計をする必要がある。 また、データの信頼性を維持するためには、一層の精緻化に取り組むことが不可欠である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公有財産管理事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	普通財産に係る貸付事務取扱要領の改正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市財務規則 吹田市公有財産規則 普通財産に係る貸付事務取扱要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	普通財産の管理											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	普通財産の適正管理、貸付等の有効活用及び売却												
(7) 事業概要	固定資産情報の管理 市有建築物の火災保険加入 普通財産の適正管理、貸付等の有効活用及び売却													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	04	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		43,104	35,384	162,633	59,817	38,751							
	人件費	職員数	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00							
		総額(B)	33,408	32,156	32,680	31,600	32,208							
	総事業費(A+B)		76,512	67,540	195,313	91,417	70,959							
	特定財源(C)		10	253	10	64	332							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	10	253	10	64	332							
	市負担(D)		76,502	67,287	195,303	91,353	70,627							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		76,502	67,287	195,303	91,353	70,627								
財源計(C+D)		76,512	67,540	195,313	91,417	70,959								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)橋本測地設計事務所等										
			②											
			③											
	主な委託内容		樹木維持、土地測量等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	普通財産の適正管理、売却及び有効活用等			目標	普通財産の適正管理、売却及び有効活用等
	②	成果内容	普通財産の売却収入により、既存施設の改修費用や新たな資産形成が可能となる。			達成状況	目標どおり進捗している。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>公有財産の管理については、公有財産規則に基づき適正に行っているが、地理情報システムの活用を検討するなど、業務の効率化を図り、公有財産のより有効な管理運用を目指す。</p> <p>新公会計制度の導入により資産の管理については、より緻密な管理が求められることとなったが、特に、行政目的を終えた普通財産については、資産に係る履歴や経過といった情報が不明確なものも多く、資産管理業務そのものの再構築の必要性がある。また、普通財産を定期借地権の活用や、土地の利活用についての公募の検討を行う等、適正な運用を図っていく。</p>				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	公有財産管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00085				

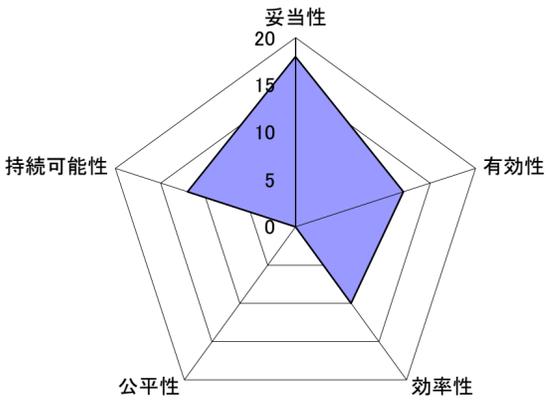
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	65	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00085
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>これまでは面積情報を中心に管理してきたが、新公会計制度の導入以後は、価格情報をはじめとして、時価情報(減損会計への対応)、地歴情報(土壤汚染情報の管理)、瑕疵情報(処分予定財産の売主責任の担保)等、資産の流動化を図るうえで多岐にわたる情報の管理が求められている。</p> <p>また、正確な資産情報を保有するためには、減価償却における耐用年数別に資産情報を管理する等、資産をより細分化した管理が必要である。</p> <p>保有している普通財産等の維持管理については、突発な事故、不測の事案により支出が左右されている。引き続き必要最低限の経費で最大の効果が出るように実施していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校一般営繕事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21				
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 小学校					
		目標(どういう状態にしたいのか)	教育環境の改善						
		結果(どのような効果が得られるのか)	安全性の確保及び快適な学習環境の整備						
(7)	事業概要	経年劣化が進む学校施設の修繕、保守点検等の実施							
(8)	H28事業別予算コード	会計 01	款 10	項 02	目 01	大事業 02	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		192,766	204,658	187,840	204,597	186,636	
		人件費	職員数 人	3.50	2.90	3.50	3.50	3.50	
			総額(B) 千円	29,232	23,314	28,595	27,650	28,182	
		総事業費(A+B)		221,998	227,972	216,435	232,247	214,818	
		(内訳)	特定財源(C)		0	16	13	26	0
			国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
		その他		0	16	13	26	0	
		(内訳)	市負担(D)		221,998	227,956	216,422	232,221	214,818
地方債			0	0	0	0	0		
その他			0	0	0	0	0		
一般財源			221,998	227,956	216,422	232,221	214,818		
財源計(C+D)		221,998	227,972	216,435	232,247	214,818			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	学校からの要望に基づき、緊急を要する施設の不具合について修繕対応を行う。設備機器の保守点検等を行う。			目標	児童にとって安心・安全な学習環境を整備する。
	②	成果内容	老朽化した施設の修繕や保守点検を実施し、施設を安全な状態に維持することにより、児童が安心して学習できる環境を整えた。			達成状況	安全性に関わる修繕や点検を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。年次的に実施する校舎・屋内運動場大規模改造工事が進捗するに伴い、建物の構造体に関わる外壁の剥落や漏水などの修繕については件数が減少すると見込まれるが、例えば戸車の損耗や床仕上げの摩耗など、施設の一般的な経年劣化による自然損耗等に対応するものについては引き続き修繕が必要となる。今後も、安心・安全な学習環境を維持するために、修繕、保守点検等を実施する。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校一般営繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00845				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00845
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なこと、及び改修工事を行う他の事業や年次的に工事を実施する大規模改造事業の実施状況や進捗により、当該事業の性質や事業量が変化するため、定量的な比較・評価ができないためである。 限られた予算の中で効果的に実施するために、劣化状況の把握や工事の実施時期の調整を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校特別営繕事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	小学校											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	教育環境の改善 安全性の確保及び快適な学習環境の整備												
(7) 事業概要	経年劣化が進む学校施設の補修工事、設計委託、監理委託の実施													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		171,117	171,860	192,907	344,238	162,680							
	人件費	職員数	人	2.50	2.00	2.50	2.50	2.50						
		総額(B)	千円	20,880	16,078	20,425	19,750	20,130						
	総事業費(A+B)		191,997	187,938	213,332	363,988	182,810							
	特定財源(C)		2,280	2,000	0	8,371	0							
	(内訳)	国	2,280	2,000	0	8,371	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		189,717	185,938	213,332	355,617	182,810							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		189,717	185,938	213,332	355,617	182,810								
財源計(C+D)		191,997	187,938	213,332	363,988	182,810								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	施設点検や劣化度調査の情報等に基づき、施設の不具合について補修工事を行う。 補修工事のための設計を行う。			目標	児童にとって安心・安全な学習環境を整備する。
	②	成果内容	老朽化した施設の補修工事を実施し、施設を良好な状態に維持することにより、児童が安心して学習できる環境を整えた。			達成状況	老朽化対策としての補修工事を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 当該事業で行う工事は、年次的に実施する校舎・屋内運動場大規模改造事業では対象とならない特別教室や外構等の工事、部分的に行う外壁や防水等の工事である。今後も、安心・安全な学習環境を維持するために補修工事を実施する。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校特別営繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00846				

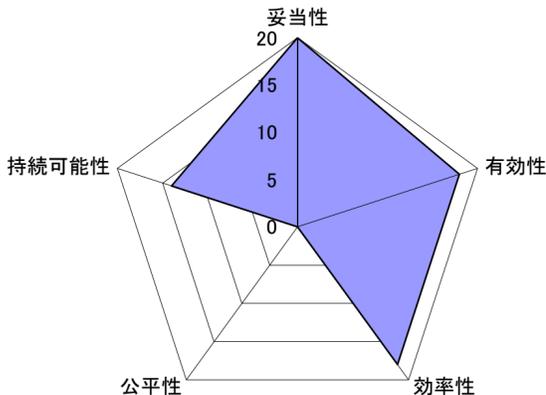
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	資産経営室	事務事業番号	00846
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価点数														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なこと、及び改修工事を行う他の事業や年次的に工事を実施する大規模改造事業の実施状況や進捗により、当該事業の性質や事業量が変化するため、定量的な比較・評価ができないためである。 限られた予算の中で効果的に実施するために、劣化状況の把握や工事の実施時期の調整を行う必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校外壁等改修事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 小学校				
		目標 (どういう状態にしたいのか)	学校施設の長寿命化					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	安全性の確保、良好な学習環境の整備					
(7)	事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、外壁、建具等の改修工事を行う。						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 02	目 02	大事業 01	中事業 01	小事業 02
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		88,258	79,568	31,018	244,031	211,723
		人件費	職員数 人	0.20	0.20	0.10	0.00	0.00
			総額(B) 千円	1,671	1,608	817	0	0
		総事業費(A+B)		89,929	81,176	31,835	244,031	211,723
		特定財源(C)		22,982	19,000	7,000	56,458	0
		(内訳)	国	22,982	19,000	7,000	56,458	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		66,947	62,176	24,835	187,573	211,723
		(内訳)	地方債	45,200	38,000	12,100	135,400	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	21,747		24,176	12,735	52,173	211,723		
財源計(C+D)		89,929	81,176	31,835	244,031	211,723		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 老朽化が進む校舎外壁、建具等の改修工 事を実施する。	目標値	(単位:校)	2.00	1.00	14.00
			実績値	(単位:校)	2.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値 の積算 方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	40,588.00	244,031.00	
				一般財源(単位:千円)	12,088.00	52,173.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容 改修工事を実施する前年度に、その工事の ための実施設計を行う。	目標値	(単位:校)	1.00	1.00
実績値				(単位:校)	1.00	1.00	
達成度(%)				100.0	100.0		
目標値 の積算 方法		年度ごとの設計業務数。	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	81,176.00	244,031.00	
				一般財源(単位:千円)	24,176.00	52,173.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 老朽化した校舎外壁、建具等の改修工 事を実施することにより、安全な学習環境の整備 を図る。	目標値	(単位:校)	2.00	1.00
	実績値			(単位:校)	2.00	1.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値 の積算 方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	40,588.00	244,031.00	
				一般財源(単位:千円)	12,088.00	52,173.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値 の積算 方法		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成 状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。当該事業で行う工事は、棟ごとの外壁や複数箇所の建具を改修する工事である。年次的に実施する校舎大規模改造事業の計画対象外の学校や、計画の後期に予定されていて劣化に応じて前倒して外壁や建具改修の一部を実施する必要がある学校について工事を実施する。今後も、安心・安全な学習環境を維持するために改修工事を実施する。なお、大規模改造事業が進むに従い工事の実施件数は減少していくと見込まれる。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校外壁等改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00855				

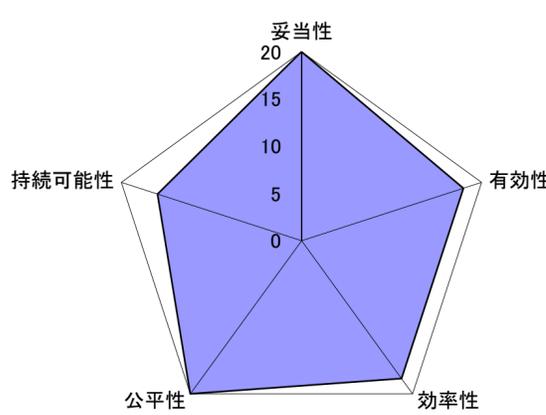
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00855
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>校舎の老朽化の進捗により、外壁コンクリートの剥落や建具の脱落などによる危険箇所は増加しており、引き続き対応が必要である。今後とも財源の確保に努めながら進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	中学校一般営繕事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	中学校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	教育環境の改善												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	安全性の確保及び快適な学習環境の整備												
(7)	事業概要	経年劣化が進む学校施設の修繕、保守点検等の実施													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	03	目	01	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		75,121	94,503	78,096	84,582	79,266							
		人件費	職員数	人	2.50	1.90	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	20,880	15,275	16,340	15,800	16,104						
		総事業費(A+B)		96,001	109,778	94,436	100,382	95,370							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		96,001	109,778	94,436	100,382	95,370						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			96,001	109,778	94,436	100,382	95,370								
財源計(C+D)		96,001	109,778	94,436	100,382	95,370									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	学校からの要望に基づき、緊急を要する施設の不具合について修繕対応を行う。設備機器の保守点検等を行う。			目標	生徒にとって安心・安全な学習環境を整備する。
	②	成果内容	老朽化した施設の修繕や保守点検等を実施し、施設を安全な状態に維持することにより、生徒が安心して学習できる環境を整えた。			達成状況	安全性に関わる修繕や点検を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。年次的に実施する校舎・屋内運動場大規模改造工事が進捗するに伴い、建物の構造体に関わる外壁の剥落や漏水などの修繕については件数が減少すると見込まれるが、例えば戸車の損耗や床仕上げの摩耗など、施設の一般的な経年劣化による自然損耗等に対応するものについては引き続き修繕が必要となる。今後も、安心・安全な学習環境を維持するために、修繕、保守点検等を実施する。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校一般営繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00859				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	資産経営室	事務事業番号	00859
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価点数														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なこと、及び改修工事を行う他の事業や年次的に工事を実施する大規模改造事業の実施状況や進捗により、当該事業の性質や事業量が変化するため、定量的な比較・評価ができないためである。 限られた予算の中で効果的に実施するために、劣化状況の把握や工事の実施時期の調整を行う必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校特別営繕事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	中学校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	教育環境の改善												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	安全性の確保及び快適な学習環境の整備												
(7)	事業概要	経年劣化が進む学校施設の補修工事、設計委託、監理委託の実施													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	03	目	01	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		98,058	132,197	99,490	206,689	126,846							
		人件費	職員数	人	1.50	1.00	1.50	1.50	1.50						
			総額(B)	千円	12,528	8,039	12,255	11,850	12,078						
		総事業費(A+B)		110,586	140,236	111,745	218,539	138,924							
		特定財源(C)		0	2,300	0	26,821	0							
		(内訳)	国		0	2,300	0	26,821	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		110,586	137,936	111,745	191,718	138,924							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			110,586	137,936	111,745	191,718	138,924								
財源計(C+D)		110,586	140,236	111,745	218,539	138,924									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	施設点検や劣化度調査の情報等に基づき、施設の不具合について補修工事を行う。 補修工事のための設計を行う。			目標	生徒にとって安心・安全な学習環境を整備する。
	②	成果内容	老朽化した施設の補修工事を実施し、施設を良好な状態に維持することにより、生徒が安心して学習できる環境を整えた。			達成状況	老朽化対策としての補修工事を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 当該事業で行う工事は、年次的に実施する校舎・屋内運動場大規模改造事業では対象とならない特別教室や外構等の工事、部分的に行う外壁や防水等の工事である。今後も、安心・安全な学習環境を維持するために補修工事を実施する。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校特別営繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00860				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	資産経営室	事務事業番号	00860
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なこと、及び改修工事を行う他の事業や年次的に工事を実施する大規模改造事業の実施状況や進捗により、当該事業の性質や事業量が変化するため、定量的な比較・評価ができないためである。 限られた予算の中で効果的に実施するために、劣化状況の把握や工事の実施時期の調整を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	幼稚園一般営繕事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	幼稚園					
	目標 (どうい状態にしたいのか)	教育環境の改善						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	安全性の確保及び老朽建物のリフレッシュ						
(7) 事業概要	経年劣化が進む園舎の修繕、保守点検等について、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき実施する							
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 04	目 01	大事業 02	中事業 01	小事業 01	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		9,000	9,901	8,485	8,352	8,445	
	人件費	職員数	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
		総額(B)	418	402	409	396	403	
	総事業費(A+B)		9,418	10,303	8,894	8,748	8,848	
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	
		国		0	0	0	0	
		府		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
	(内訳)	市負担(D)		9,418	10,303	8,894	8,748	8,848
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		9,418	10,303	8,894	8,748	8,848
財源計(C+D)		9,418	10,303	8,894	8,748	8,848		
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	① 活動内容	児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき、施設の不具合について修繕対応を行う。 設備機器の保守点検等を行う。			目標	園児にとって安心・安全な学習環境を整備する。	
	② 成果内容	老朽化した施設の修繕や保守点検を実施し、施設を良好な状態に維持することにより、園児が安心して学習できる環境を整えた。			達成状況	児童部保育幼稚園室の事業計画通りに、安全性に関わる修繕や点検を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	吹田市内の幼稚園は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 当該事業は、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき、修繕、保守点検等を実施する。 なお、平成26年度より軽微な修繕業務は保育幼稚園室に移管したため、本事業は設計を要する修繕及び保守点検等のみを対象として実施する。					

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	幼稚園一般営繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00869				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	4	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)	1	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	4	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	55	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00869
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

当該事業については、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき予算を執行しているため、当室において評価できるのは有効性及び効率性についてのみと考える。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>当該事業については、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき予算を執行しているため、当室においては現状分析ができないと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	幼稚園特別営繕事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等	幼稚園				
		目標 (どういう状態にしたいのか)	教育環境の改善						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	安全性の確保及び老朽建物のリフレッシュ						
(7)	事業概要	経年劣化が進む園施設の補修工事、設計委託、監理委託について、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき実施する。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 04	目 01	大事業 02	中事業 02	小事業 01	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		8,412	7,126	7,912	7,494	7,874	
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.05	0.05	0.05
			総額(B)	千円	1,671	1,608	409	396	403
		総事業費(A+B)		10,083	8,734	8,321	7,890	8,277	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		10,083	8,734	8,321	7,890	8,277	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
その他			0	0	0	0	0		
一般財源			10,083	8,734	8,321	7,890	8,277		
財源計(C+D)		10,083	8,734	8,321	7,890	8,277			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき、施設の不具合について補修工事を行う。 補修工事のための設計を行う。			目標	園児にとって安心・安全な学習環境を整備する。
	②	成果内容	老朽化した施設の補修工事を実施し、施設を良好な状態に維持することにより、園児が安心して学習できる環境を整えた。			達成状況	児童部保育幼稚園室の事業計画通りに老朽化対策としての補修工事を実施し、安心・安全な学習環境を整備した。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の幼稚園は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 当該事業は、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき、補修工事、設計委託、監理委託を実施する。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	幼稚園特別営繕事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00870				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	4	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)	1	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	4	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	55	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	00870
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

当該事業については、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき予算を執行しているので、当室において評価できるのは有効性及び効率性についてのみと考える。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当該事業については、児童部保育幼稚園室の事業計画に基づき予算を執行しているので、当室においては現状分析ができないと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	土地開発基金繰出金事業				
担当部署	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和44年度	改正内容	基金の額及び公共用地先行取得特別会計への貸付に関する規定を加えた。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市土地開発基金条例、吹田市土地開発基金管理・運用要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	土地開発基金												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	土地開発基金の運用益を土地開発基金へ繰り出す。												
(6) 結果 (どのような効果が得られるのか)	土地開発基金の適正な管理													
(7) 事業概要	土地開発基金の運用の結果得られた運用益について、吹田市土地開発基金条例第6条の規定に基づき、同基金へ繰り出す。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	12	項	01	目	01	大	01	中	01	小	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,785	79	3,720	204	1,679							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20							
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580							
	総事業費(A+B)		6,456	1,687	5,354	1,784	3,290							
	特定財源(C)		4,785	79	3,720	204	1,679							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	4,785	79	3,720	204	1,679							
	市負担(D)		1,671	1,608	1,634	1,580	1,611							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		1,671	1,608	1,634	1,580	1,611								
財源計(C+D)		6,456	1,687	5,354	1,784	3,290								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が指標で示し難い場合	① 活動内容	土地開発基金の運用益を土地開発基金へ繰り出す。			目標	土地開発基金の運用益の適正管理	
	② 成果内容	土地開発基金の運用益を土地開発基金へ繰り出す。			達成状況	目標どおり進捗している。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	土地開発基金の運用益を適正に管理した。 現在、土地開発基金で所有する土地について、現金化することで運用可能金額を増額させ、運用益の増加を目指す。					

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	土地開発基金繰出金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01051				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	01051
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	吹田市土地開発基金条例の規定に基づいて、適切な事務執行を行っている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校屋内運動場大規模改造事業				
担当部署	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	範囲等	小学校					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	学校施設(屋内運動場)の長寿命化					
結果 (どのような効果が得られるのか)	安全性の確保、良好な学習環境の整備						
(7) 事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設の最適化の考え方を踏まえ、屋内運動場の外壁、屋上防水、建具、内装、トイレ等の改修工事を行う。 また、防災備蓄スペースの確保、トイレの整備などにより、地域の避難所としての整備を図る。						
(8) H28事業別予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	7,951	585,723	1,002,833	544,895
	人件費	職員数	人	0.00	0.20	1.50	1.50
		総額(B)	千円	0	1,608	12,256	11,850
	総事業費(A+B)		0	9,559	597,979	1,014,683	556,973
	特定財源(C)		0	0	87,000	100,193	0
	(内訳)	国		0	0	87,000	100,193
		府		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
	市負担(D)		0	9,559	510,979	914,490	556,973
	(内訳)	地方債		0	0	273,800	652,900
		その他		0	0	220,000	190,000
一般財源		0	9,559	17,179	71,590		
財源計(C+D)		0	9,559	597,979	1,014,683	556,973	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容 老朽化が進む屋内運動場の大規模改造工事を実施する。	目標値 (単位:校)	0.00	3.00	3.00	
		実績値 (単位:校)	0.00	3.00		
		達成度(%)	0.0	100.0		
	目標値の積算方法 年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	334,277.67	
			一般財源(単位:千円)	0.00	19,913.33	
		達成度(%)	0.0	100.0		
② 指標内容 大規模改造工事を実施する前年度に、その工事のための実施設計を行う。	目標値 (単位:校)	目標値 (単位:校)	3.00	3.00	3.00	
		実績値 (単位:校)	3.00	3.00		
		達成度(%)	100.0	100.0		
	目標値の積算方法 年度ごとの設計業務数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,650.33	334,277.67	
			一般財源(単位:千円)	2,650.33	19,913.33	
		達成度(%)	100.0	100.0		
(2) 成果指標	① 指標内容 老朽化した屋内運動場の大規模改造工事を実施することにより、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。	目標値 (単位:校)	0.00	24.00	21.00	
		実績値 (単位:校)	0.00	3.00		
		達成度(%)	0.0	12.5		
	目標値の積算方法 年次計画全体を通じた累計の工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	334,277.67	
			一般財源(単位:千円)	0.00	19,913.33	
		達成度(%)	0.0	12.5		
	② 指標内容	目標値 (単位:)	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値 (単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)	0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
一般財源(単位:千円)	0.00			0.00		
(3) が困難な場合	① 活動内容		目標			
	② 成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 地域の避難所となる屋内運動場において、計画的に老朽化対策を施すことにより施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。 当該事業の実施により、施設の維持管理の考え方をこれまでの事後保全から予防保全に転換することができ、将来の維持補修費を縮減できると考える。また、吹田市公共施設総合管理計画における個別施設計画としての吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、個々の施設の具体的な方向性の検討が進められていく中で、建替え等も含めた検討が必要になる。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校屋内運動場大規模改造事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01335				

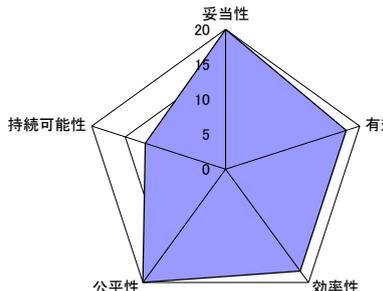
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	01335
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>学校施設の耐震化が平成27年度に完了したことから、引き続き老朽化が進む学校の大規模な改修を計画的に進めていく必要がある。</p> <p>財源については、国の補助金等を有効に活用できるよう検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。

文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	小学校校舎大規模改造事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	小学校					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	学校施設の長寿命化					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	安全性の確保、良好な学習環境の整備						
(7)	事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設の最適化の考え方を踏まえ、校舎の外壁、屋上防水、建具、内装等の改修工事を行う。						
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		0	13,162	711,706	2,499,167	1,904,248
		人件費	職員数	0.00	0.20	2.50	2.50	2.60
			総額(B)	0	1,608	20,426	19,750	20,936
		総事業費(A+B)		0	14,770	732,132	2,518,917	1,925,184
		特定財源(C)		0	0	163,267	293,927	0
		(内訳)	国	0	0	163,267	293,927	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	14,770	568,865	2,224,990	1,925,184
		(内訳)	地方債	0	0	273,700	1,609,300	0
			その他	0	0	270,000	430,000	0
一般財源	0		14,770	25,165	185,690	1,925,184		
財源計(C+D)		0	14,770	732,132	2,518,917	1,925,184		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 老朽化が進む校舎の大規模改造工事を2ヶ年をかけて実施する。	目標値	(単位:校)	0.00	4.00	8.00
			実績値	(単位:校)	0.00	4.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法 年度ごとの工事実施校数。1期工事、2期工事は別々に算定する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	624,791.75	
			一般財源(単位:千円)		0.00	41,485.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容 大規模改造工事を実施する前年度に、その工事のための実施設計を行う。	目標値	(単位:校)	4.00	8.00
実績値				(単位:校)	4.00	8.00	
達成度(%)				100.0	100.0		
目標値の積算方法 年度ごとの設計業務数。1期工事、2期工事は別々に算定する。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3,290.50	312,395.88	
			一般財源(単位:千円)		3,290.50	20,742.50	
(3) が困難な場合		①	指標内容 老朽化した校舎の大規模改造工事を実施することにより、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。	目標値	(単位:校)	0.00	30.00
	実績値			(単位:校)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法 年次計画全体を通じた累計の工事実施校数。2ヶ年の工事が完了して校数に算定する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 文部科学省によると、学校施設の改築までの平均年数はおおむね42年とされているが、適切な維持管理がなされた鉄筋コンクリートの建物は耐用年数を70~80年と設定できるとされている。当該事業においては耐用年数を80年程度と設定し、計画的に老朽化対策を施すことにより施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。 当該事業の実施により、施設の維持管理の考え方をこれまでの事後保全から予防保全に転換することができ、将来の維持補修費を縮減できると考える。また、吹田市公共施設総合管理計画における個別施設計画としての吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、個々の施設の具体的な方向性の検討が進められていく中で、建替え等も含めた検討が必要になる。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校校舎大規模改造事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01336				

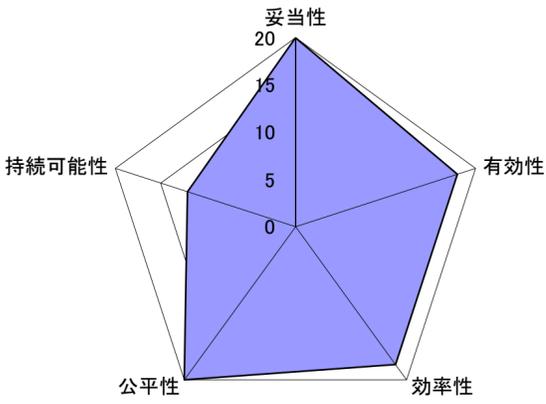
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	資産経営室	事務事業番号	01336
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>学校施設の耐震化が平成27年度に完了したことから、引き続き老朽化が進む学校の大規模な改修を計画的に進めていく必要がある。</p> <p>財源については、国の補助金等を有効に活用できるよう検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。

文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	中学校屋内運動場大規模改造事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	目標 (どのような状態にしたいのか)	範囲等	中学校				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	安全性の確保、良好な学習環境の整備					
(7) 事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設の最適化の考え方を踏まえ、屋内運動場の外壁、屋上防水、建具、内装、トイレ等の改修工事を行う。 また、防災備蓄スペースの確保、トイレの整備などにより、地域の避難所としての整備を図る。						
(8) H28事業別予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	4,709	270,638	866,664	631,665
	人件費	職員数	0.00	0.20	1.00	1.00	1.00
		総額(B)	0	1,608	8,170	7,900	8,052
	総事業費(A+B)		0	6,317	278,808	874,564	639,717
	特定財源(C)		0	0	54,000	148,273	0
	(内訳)	国	0	0	54,000	148,273	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	6,317	224,808	726,291	639,717
	(内訳)	地方債	0	0	110,500	512,300	0
		その他	0	0	100,000	140,000	0
一般財源		0	6,317	14,308	73,991	639,717	
財源計(C+D)		0	6,317	278,808	874,564	639,717	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
		③					
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容 老朽化が進む屋内運動場の大規模改造工事を実施する。	目標値 (単位:校)	0.00	2.00	2.00	
		実績値 (単位:校)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)	0.0	0.0		
	② 目標値の積算方法 年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
		達成度(%)	100.0	100.0		
(2) 成果指標	① 指標内容 大規模改造工事を実施する前年度に、その工事のための実施設計を行う。	目標値 (単位:校)	3.00	3.00	3.00	
		実績値 (単位:校)	3.00	3.00	/	
		達成度(%)	100.0	100.0		
	② 目標値の積算方法 年度ごとの設計業務数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,569.67	288,888.00	/
			一般財源(単位:千円)	1,569.67	22,030.33	
		達成度(%)	100.0	100.0		
(3) が困難な場合	① 指標内容 老朽化した屋内運動場の大規模改造工事を実施することにより、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。	目標値 (単位:校)	0.00	17.00	15.00	
		実績値 (単位:校)	0.00	2.00	/	
		達成度(%)	0.0	11.8		
	② 目標値の積算方法 年次計画全体を通じた累計の工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	433,332.00	/
			一般財源(単位:千円)	0.00	33,045.50	
		達成度(%)	0.0	0.0		
の3が困難な場合	① 活動内容		目標			
	② 成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 地域の避難所となる屋内運動場において、計画的に老朽化対策を施すことにより施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。 当該事業の実施により、施設の維持管理の考え方をこれまでの事後保全から予防保全に転換することができ、将来の維持補修費を縮減できると考える。また、吹田市公共施設総合管理計画における個別施設計画としての吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、個々の施設の具体的な方向性の検討が進められていく中で、建替え等も含めた検討が必要になる。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校屋内運動場大規模改造事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01338				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	01338
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>学校施設の耐震化が平成27年度に完了したことから、引き続き老朽化が進む学校の大規模な改修を計画的に進めていく必要がある。</p> <p>財源については、国の補助金等を有効に活用できるよう検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。</p> <p>文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。</p>

事務事業評価調書

事務事業名	中学校外壁等改修事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正 内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	中学校					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	学校施設の長寿命化 安全性の確保、良好な学習環境の整備						
(7) 事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、外壁、建具等の改修工事を行う。							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		72,368	82,994	102,823	294,640	201,095	
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
		総額(B)	千円	836	804	818	790	0
	総事業費(A+B)		73,204	83,798	103,641	295,430	201,095	
	特定財源(C)		0	0	25,000	53,604	0	
	(内訳)	国		0	0	25,000	53,604	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		73,204	83,798	78,641	241,826	201,095	
	(内訳)	地方債		0	0	40,100	174,200	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		73,204	83,798	38,541	67,626	201,095		
財源計(C+D)		73,204	83,798	103,641	295,430	201,095		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 老朽化が進む校舎外壁、建具等の改修工 事を実施する。	目標値	(単位:校)	1.00	2.00	11.00
			実績値	(単位:校)	1.00	2.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値 の積算 方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	82,994.00	147,320.00	
				一般財源(単位:千円)	82,994.00	33,418.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容 改修工事を実施する前年度に、その工事の ための実施設計を行う。	目標値	(単位:校)	2.00	1.00
実績値				(単位:校)	2.00	1.00	
達成度(%)				100.0	100.0		
目標値 の積算 方法		年度ごとの設計業務数。	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	41,497.00	294,640.00	
				一般財源(単位:千円)	41,497.00	66,836.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 老朽化した校舎外壁、建具等の改修工 事を実施することにより、安全な学習環境の整備 を図る。	目標値	(単位:校)	1.00	2.00
	実績値			(単位:校)	1.00	2.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値 の積算 方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	82,994.00	147,320.00	
				一般財源(単位:千円)	82,994.00	33,418.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値 の積算 方法		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成 状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。当該事業で行う工事は、棟ごとの外壁や複数箇所の建具を改修する工事である。年次的に実施する校舎大規模改造事業の計画対象外の学校や、計画の後期に予定されていて劣化に応じて前倒して外壁や建具改修の一部を実施する必要がある学校について工事を実施する。今後も、安心・安全な学習環境を維持するために改修工事を実施する。なお、大規模改造事業が進むに従い工事の実施件数は減少していくと見込まれる。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校外壁等改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01339				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	01339
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性及び効率性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。</p> <p>校舎の老朽化の進捗により、外壁コンクリートの剥落や建具の脱落などによる危険箇所は増加しており、引き続き対応が必要である。今後とも財源の確保に努めながら進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。
 文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	中学校校舎大規模改造事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)					
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり					
		節	01						
		細節	21						
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	中学校					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	学校施設の長寿命化						
(7)	事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、公共施設の最適化の考え方を踏まえ、校舎の外壁、屋上防水、建具、内装等の改修工事を行う。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	6,522	559,977	1,002,895	625,003	
		人件費	職員数	人	0.00	0.20	2.50	1.50	106.00
			総額(B)	千円	0	1,608	20,426	11,850	853,512
		総事業費(A+B)		0	8,130	580,403	1,014,745	1,478,515	
		特定財源(C)		0	0	95,820	105,588	0	
		(内訳)	国	0	0	95,820	105,588	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		0	8,130	484,583	909,157	1,478,515	
		(内訳)	地方債	0	0	249,300	649,800	0	
			その他	0	0	210,000	180,000	0	
一般財源	0		8,130	25,283	79,357	1,478,515			
財源計(C+D)		0	8,130	580,403	1,014,745	1,478,515			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 老朽化が進む校舎の大規模改造工事を2ヶ年をかけて実施する。	目標値	(単位:校)	0.00	2.00	4.00
			実績値	(単位:校)	0.00	2.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。1期工事、2期工事は別々に算定する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	501,447.50	4.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	33,753.50	
	(2) 成果指標	②	指標内容 大規模改造工事を実施する前年度に、その工事のための実施設計を行う。	目標値	(単位:校)	2.00	4.00
実績値				(単位:校)	2.00	4.00	
達成度(%)				100.0	100.0		
目標値の積算方法		年度ごとの設計業務数。1期工事、2期工事は別々に算定する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,261.00	250,723.75	4.00
				一般財源(単位:千円)	3,261.00	16,876.75	
(3) が困難な場合		①	指標内容 老朽化した校舎の大規模改造工事を実施することにより、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。	目標値	(単位:校)	0.00	17.00
	実績値			(単位:校)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	②	目標値の積算方法 老朽化が進む校舎の大規模改造工事を2ヶ年をかけて実施する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
				目標値	(単位:)	0.00	
②	指標内容	実績値	(単位:)		0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
一般財源(単位:千円)	0.00	0.00					
①	活動内容					目標	
	②	成果内容					達成状況
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 文部科学省によると、学校施設の改築までの平均年数はおおむね42年とされているが、適切な維持管理がなされた鉄筋コンクリートの建物は耐用年数を70~80年と設定できるとされている。当該事業においては耐用年数を80年程度と設定し、計画的に老朽化対策を施すことにより施設の長寿命化や機能の維持・向上を図る。 当該事業の実施により、施設の維持管理の考え方をこれまでの事後保全から予防保全に転換することができ、将来の維持補修費を縮減できると考える。また、吹田市公共施設総合管理計画における個別施設計画としての吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、個々の施設の具体的な方向性の検討が進められていく中で、建替え等も含めた検討が必要になる。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校校舎大規模改造事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01340				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	01340
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation criteria. The vertical axis is '妥当性' (Justification) with a scale from 0 to 20. The right axis is '有効性' (Effectiveness). The bottom-right axis is '効率性' (Efficiency). The bottom-left axis is '公平性' (Fairness). The left axis is '持続可能性' (Sustainability). The area under the lines is shaded blue. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 12, 公平性: 10, 持続可能性: 8.</p>		
(3)現状分析	<p>妥当性、有効性、効率性及び公平性と比較し持続可能性について評価が低くなっているのは、他市の類似事業との比較・分析ができないことによる。これは、他市の事業内容が不明確なことにより、定量的な比較・評価ができないためである。 学校施設の耐震化が平成27年度に完了したことから、引き続き老朽化が進む学校の大規模な改修を計画的に進めていく必要がある。 財源については、国の補助金等を有効に活用できるよう検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。
 文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	中学校トイレ施設整備事業				
担当部署	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	中学校					
	目標 (どうい状態にしたいのか)	トイレの環境改善						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	安全性の確保、快適な学習環境の整備						
(7) 事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面、衛生面で不具合や学校運営上の支障が生じているため、主に床仕上げの乾式化、便器の洋式化などの改修を行う。							
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 03	目 02	大事業 01	中事業 01	小事業 06	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	4,330	187,583	394,945	253,498	
	人件費	職員数	人	0.00	0.20	0.50	0.50	0.50
		総額(B)	千円	0	1,608	4,085	3,950	4,026
	総事業費(A+B)		0	5,938	191,668	398,895	257,524	
	特定財源(C)		0	0	44,000	59,039	0	
	(内訳)	国		0	0	44,000	59,039	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	5,938	147,668	339,856	257,524	
	(内訳)	地方債		0	0	71,700	226,400	0
		その他		0	0	70,000	64,537	0
		一般財源		0	5,938	5,968	48,919	257,524
財源計(C+D)		0	5,938	191,668	398,895	257,524		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容 老朽化が進むトイレ施設の改修工事を実施する。	目標値	(単位:校)	0.00	2.00	3.00
		実績値	(単位:校)	0.00	2.00	
		達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法 年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	199,515.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	24,527.00	
	② 指標内容 改修工事を実施する前年度に、その工事のための実施設計を行う。	目標値	(単位:校)	2.00	3.00	5.00
実績値			(単位:校)	2.00	3.00	
達成度(%)			100.0	100.0		
目標値の積算方法 年度ごとの設計業務数。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,969.00	133,010.00	
			一般財源(単位:千円)	2,969.00	16,351.33	
(2) 成果指標		① 指標内容 老朽化が進むトイレ施設の改修工事を実施することにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。	目標値	(単位:校)	0.00	18.00
	実績値		(単位:校)	0.00	2.00	
	達成度(%)		0.0	11.1		
	目標値の積算方法 年次計画全体を通じた累計の工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	199,515.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	24,527.00	
	② 指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	① 活動内容				目標	
	② 成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 現状の学校施設のトイレは安全面、衛生面、児童の健康面等の問題を抱えており、また学校や保護者等から改修の要望も大きいため、計画的に改修工事を実施し、快適な学習環境を整備する。				

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	中学校トイレ施設整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01477				

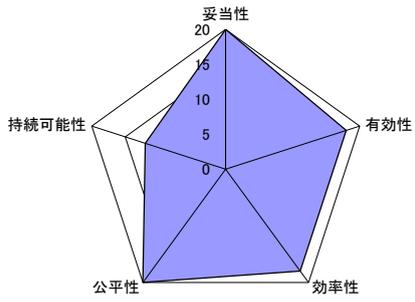
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	01477
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>校舎の老朽化が進んでおり、トイレ施設の環境改善の必要性は年々増している。耐震化が平成27年度に完了したこともあり、引き続き計画的に実施できるよう進めていく必要がある。また、財源については、国の補助金等を有効に活用できるよう、検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	小学校トイレ施設整備事業				
担当部名	行政経営部	室課名	資産経営室	室課長名	保木本 薫

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 小学校				
		目標(どういう状態にしたいのか)	トイレの環境改善					
		結果(どのような効果が得られるのか)	安全性の確保、快適な学習環境の整備					
(7)	事業概要	施設の経年劣化が進み、安全面、衛生面での不具合や学校運営上の支障が生じているため、主に床仕上げの乾式化、便器の洋式化などの改修工事を行う。						
(8)	H28事業別予算コード	会計 01	款 10	項 02	目 02	大事業 01	中事業 01	小事業 06
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		0	15,537	881,807	1,414,954	741,602
		人件費	職員数 人	0.00	0.20	2.00	2.00	2.00
			総額(B) 千円	0	1,608	16,340	15,800	16,104
		総事業費(A+B)		0	17,145	898,147	1,430,754	757,706
		特定財源(C)		0	0	165,000	179,999	0
		(内訳)	国	0	0	165,000	179,999	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	17,145	733,147	1,250,755	757,706
		(内訳)	地方債	0	0	376,300	852,300	0
その他	0		0	340,000	270,000	0		
一般財源	0		17,145	16,847	128,455	757,706		
財源計(C+D)		0	17,145	898,147	1,430,754	757,706		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 老朽化が進むトイレ施設の改修工事を実施する。	目標値	(単位:校)	0.00	9.00	8.00	
			実績値	(単位:校)	0.00	9.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法	年度ごとの工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	159,032.67	
				一般財源(単位:千円)		0.00	14,332.78	
	(2) 成果指標	②	指標内容 改修工事を実施する前年度に、その工事のための実施設計を行う。	目標値	(単位:校)	9.00	8.00	5.00
実績値				(単位:校)	9.00	8.00		
達成度(%)				100.0	100.0			
目標値の積算方法		年度ごとの設計業務数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,905.00	178,911.75	
				一般財源(単位:千円)		1,905.00	16,124.38	
(3) が困難な場合		①	指標内容 老朽化が進むトイレ施設の改修工事を実施することにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。	目標値	(単位:校)	0.00	35.00	26.00
	実績値			(単位:校)	0.00	9.00		
	達成度(%)			0.0	25.7			
	目標値の積算方法	年次計画全体を通じた累計の工事実施校数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	159,032.67	
				一般財源(単位:千円)		0.00	14,332.78	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	吹田市の学校施設は、昭和40年代から昭和50年代にかけて多く整備されており、そのほとんどが建設後40年以上経過しているため老朽化が深刻な状況である。 現状の学校施設のトイレは安全面、衛生面、児童の健康面等の問題を抱えており、また学校や保護者等から改修の要望も大きいため、計画的に改修工事を実施し、快適な学習環境を整備する。						

事務事業分析シート

所属名	資産経営室	事業名	小学校トイレ施設整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01480				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資産経営室	事務事業番号	01480
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>校舎の老朽化が進んでおり、トイレ施設の環境改善の必要性は年々増している。耐震化が平成27年度に完了したこともあり、引き続き計画的に実施できるよう進めていく必要がある。また、財源については、国の補助金等を有効に活用できるよう、検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校施設の長寿命化改修の手引などが国から示され、老朽化対策の具体例等が示されている。文部科学省では、平成25年に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、地方公共団体の行動計画(本市における「吹田市公共施設総合管理計画」)も踏まえ、平成32年度までに個別施設計画(学校施設の長寿命化計画)を策定するよう通知している。なお、本市では先行して策定した「吹田市公共施設最適化計画【実施編】」における学校の個別施設計画も同様の扱いとしている。